

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

March 2018

## 十勝の雪解け

やっと寒さが和らぎとは言いたいところですが、ここ数日マイナス17度下回る超極寒の朝を迎えております。朝散では、川もやの中に霧氷の林が見え、そこから白鳥が7羽、「へ」の字になって飛び立ってゆきました。日中の気温がプラスマイナスまで上がります。そこまで来ると気温差からドンドン雪がザクザクに融けて、道路がビチャビチャになります。洗っても洗っても車が真っ黒クロ介に変わります。市内の車全てが真っ黒なので気にすることがないのですが、乗る内(妻)の人の苦情だけです。その中で昨日から爆弾低気圧が通り、一気に50cm。雪撥ね雪撥ねで体の節々が痛いです。まだまだ気が抜けませんね。追伸：OP高木姉妹、さらちゃん、SL北見等の応援ありがとうございました



## 活動のお知らせ

3月30日(金) 13:00～東京大学大学院農学生命化学研究科・農学部  
主催：日本産肉研究会 日本畜産学会  
テーマ：2020年東京オリンピック・パラリンピックの先を見据えて  
～赤身牛肉生産に各種認証制度を活用する～  
セッション2 有機JAS牛肉の流通 岩崎氏(マルハニチロ㈱、北海道OG振興協議会)

## NEWSばか読み

- 伊藤ハム 和牛繁殖を強化し2020年1万2千頭出荷体制 1/30  
：企業集中化進む
- パナソニック 中国で野菜工場現在の4倍に増産 1/31：安心安全前面に
- 総務省 国の債務528兆円に拡大 1/31：次世代に残す負債
- オイシックス大地 らでいっしゅぼーやを買収 1/31：流通動態が速い
- 消費庁 混入率5%見直し非GM表示を明確化 2/1  
：検出限界どこまで負担
- 長寿研・島津製作所 微量血液で認知症発見技術開発 2/1：やばい
- 農林水産省 性別判別精液の受胎率向上に補助 2/1  
：雄が段々少なくなる
- 財務省 17年度花き輸出で5割増135億円中国向け盆栽好調 2/1  
：金持ち中国
- クロスブリーディング推進PJ 北欧牛との交配推進 2/7：多様性重要
- 家畜改良事業団 種雄牛「福乃姫」BMS評価歴代1位 2/7：まだサシ志向か
- ホクレン乳価 30年ぶりに3ヶ月連続100円超し 2/8：酪農家還元
- 日本ファームステイ協発足 農村宿泊品質保証制度の設立へ 2/8：
- ヤンマー 自社生産した酒米 沢の鶴と日本酒開発 2/8：飲みたいね
- 米国牛肉輸出額最高の8,000億円日本向け2,000億円 2/9：いつの間に
- オリオン 乳牛300頭用ロボットパーラー開発 2/9：価格は？
- 農林水産物輸出17年度 5年連続で伸び8,000億円 2/10：目標1兆円
- 17年度産ジャガイモ収穫量9%増 187万t北海道シェア8割 2/10  
：昨年は好調

- 国際再生可能エネルギー機関(IRENA) 7年間で太陽光7割コスト減陸上風力2割減 2/13：
- 都市農地活用支援センター 東京で都市農地活用セミナー開催 2/14  
：食育活動に
- 春節650万人海外に 1位タイ2位日本で景観堪能 2/14  
：そこいら中に中国人
- 農林水産省 16年度農業事故数が業種別で1位 2/14：高齢者自己増
- 立教大 トマトに縫い針刺し電極不要で生育データ計測 2/16  
：自然エネ発掘
- 農研機構(畜草研) 多収800kg超し飼料米を開発 2/16：目指せ1t
- スーパー 工場育ち野菜を支持 価格安定が魅力 2/17：天然との差は？
- ネット直販3社/楽天、ヤフー、アマゾンが百貨店売上を抜く 2/17：流通革命
- 生乳生産1月前年超え 北海道最大の伸び 2/19：順調な生産
- 魚粉(養魚用えさ)5割高 世界需要増とペルー不漁 2/20：食料競合
- 和牛子牛取引 4年連続で最少更新 2/20：生産基盤強化が課題
- 全国食肉学校 シビエの処理技術指導を開始 2/21：シビエも蛋白源
- JA全農 海外で食肉加工施設設置し現地加工と食べ方提案 2/24  
：高級部位以外輸出
- 沖縄 サトウキビ台風被害で収量糖度が例年1/3の過去最低 2/24  
：沖縄応援
- 農林水産省17年度多収米コンで美明市稲作農家968kg2/24：すごい
- 2月和牛子牛相場上場頭数増加で2ヶ月連続下げ 2/27：まだまだ高い
- 17年度豆乳生産量 最高更新の34万t /27：

## 東京直近NEWS (2/28 Shi-REPORT)

**ホルス** 3月枝肉相場は下げを見込み。枝建値相場下げも、産地は集荷頭数確保等の意図で建値価格での仕入は不可状況で、単価上乘せでの仕入を実施している模様。販売は、2月からの停滞環境変わらず3月に入り好転を希望も不透明。現時点では、赤身モモ部位と切落しは引き合い強いが、上位部位とバラが低迷。特に、カタロースの失速とバラの値下がり大きい。ロースは多少引き合いあるものの、ユーザーからの希望価格バラつきが大きい。メーカー関係は頭数減少から、絶対数量不足が深刻化してきており、ホルスの頭数不足感が膨らんできている。

**経産牛** 枝肉相場は高値安定状態。パーツ販売状況は、赤身系を中心に切落し関係の問い合わせも多くなっている。バラ系とカタロースの動きが鈍く、冷凍在庫の案内も多くなっている。特にカタロースはチャックロールスタイルでの販促案内が多く、冷凍チルド問わず荷余り感が強まっている模様。挽き材は、引き合いが強いわけではないが定期定量販売で大きな変化はない。産地側は徐々に在庫が軽くなってきている可能性も有り、値上げ示唆もあり。例年ほど年度末のため価格対応での処分販売は少ないと思われる。少傾向から今後値上げの可能性も有り。

# 左先生の畜産学研究NEWS

どの新聞も連日平昌オリンピックでの日本選手の活躍に湧き、しばらく振りて国民は清々しく明るい話題を楽しみました。その裏で政治の世界では裁量労働制で働く人と一般労働者の労働時間を巡ってデータの比較が問題となりました。裁量労働制の対象拡大は安部内閣の目玉の一つで、働き方改革関連法案は企業労働者の残業時間数が議論されました。農業者には直接には関係無いようですが、いずれ農業に企業の参画が進み、この国の農業生産体制が変革すればこうした労働量の評価は自然相手で不確実性の多い農業生産とも無関係ではなくなります。政府の対応をきちっとみておく必要があり、その対応への評価は次の国政選挙に反映させることとなります。e-ビーふNews51号の学術情報は以下の通りです。日畜会報は2月から89:1に変わりました。

## 1. 畜産技術#752,(2018.2) 国内情報②.

肉用牛ベンチマーキングCattleINFOの紹介(肥育農家編)(山根逸郎,食農ビジネスセンタ)ベンチマーキングは元々同業他社の経営手法を取り入れて経営改善を図るための手法で、農・食技総研機構と中畜事業でこの手法を肉用牛肥育の生産性・成績評価を目的にベンチマーキングシステム:CattleINFOを開発しました。このシステムに参加した肥育農家が品種毎に雌・雄(去勢)合わせて22項目のデータを入力して機構に送るとその分析結果が返却されて自農場の弱み、強みを客観的に評価でき経営改善に活かすことができます。現在のデータ収集頻度では1年単位の解析ですが、将来的にはデータを増やして3ヶ月毎の解析結果返却の予定のようです。

## 2. 日畜会報89:1.(2018.2)

1) SNPマーカーを用いた台湾牛種と黒毛和種および欧米種との遺伝

的關係の解析(李登輝他、李・基金肉牛BLUP研セ) 現在19頭になった台湾牛(TWN)は和牛の子孫とされていますが、黒毛和種(JB)及びヘレフォード、シンメンタール、ショートホーン、アンガス、ホルスタイン、シャロレー、リムジンなどの欧米品種との遺伝的関係性を遺伝情報を形成するDNA構成4塩基配列のうち1塩基だけが異なり多型を示すSNPマーカーを用いて解析しました。その結果、TWNはJBや外国種とは独立した集団とみなされました。

2) 肥育中期における生稲わらサイレージと生米ぬかを混合した発酵TMRの給与が黒毛和種去勢牛の飼養成績に及ぼす影響(高平寧子他、富山県農水総技研) 肥育中期の黒毛和種去勢牛18頭に生稲わらサイレージ10%、20%と生米ぬか10%の発酵TMRを栄養充足量の110%、12ヶ月間給与して、産肉性を検討しました。その結果、肥育中期の発酵TMR給与は乾物摂取量、日増体量及び枝肉重量、オレイン酸割合を改善する効果がありましたが、Ca/P比の高まりが原因とみられる尿石症発生のリスクもあると思われました。

3) 十勝若牛(R)の官能評価における生産履歴および画像解析品質との関係性(遠藤康世他、帯畜大)

ホルスタイン種14ヶ月齢肥育の十勝若牛(R)の官能評価に対する生産履歴や枝肉格付け、画像解析品質の影響を検討しました。その結果、肉の締まり及びきめ等級(1-2)、画像解析品質である肉色の客観的評価値iBCS及びロース芯脂肪面積割合は消費者型官能評価値と関係が深く、枝肉格付5形質、生産履歴4形質および9画像解析品質を用いると十勝若牛の官能特性が枝肉段階で推定できる可能性があると思われました。

## 国産牛 NEWS

### 2018年度 国産牛情報予想 全6回シリーズ② マルハニチロ(株) 国産牛肉課 岩崎課長代理

